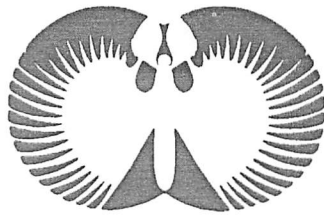


大温室



観察日 / 年 月 日 (曜日)

天気 /

 広島市植物公園

〒731-5156 広島市佐伯区倉重三丁目 495

電話 (082)922-3600

1 大温室の植物を観察してみよう！

熱帯や亜熱帯の植物が、天井に届くほど高く伸びています。

大温室の中はいつも暖かく水も十分あるので、一年中植物がのびのびと育っています。



大温室の大きさ 間口35m × 奥行62m × 高さ21m
平均温度 冬 20℃ 夏28℃
平均湿度 約80%

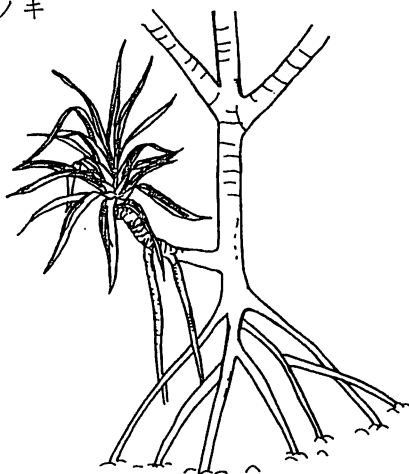
2 熱帯の植物たち

一年中気温が高く、雨がよくふる熱帯の森では、いろいろな種類の植物が生活しています。特におもしろい形をした植物を紹介しましょう。

・支柱根

幹や枝の途中から太い根を出して、大きな体を支えています。

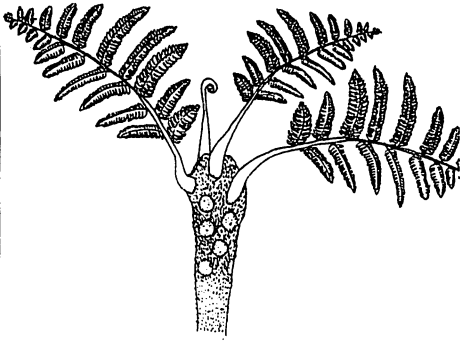
A タコノキ



もくせい
 ・木生シダ

一年中生育に適した環境なので、木のように大きくなるシダもあります。

B ヒカゲヘゴ



かんせい か
 ・幹生花

太い幹に直接、花が咲いて実がなります。

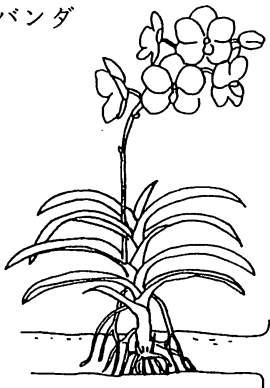
C カカオ



ちやくせいしょくぶつ
 ・着生植物

木の枝や幹に根をはわせ、体をささえます。木から養分をとることはありません。

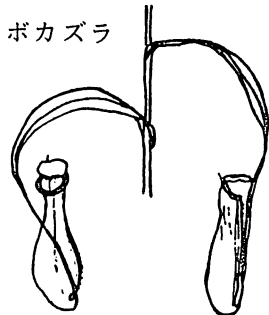
D バンダ



しょくちゅうしょくぶつ
 ・食虫植物

虫などの動物を捕まえて消化し、体を作るために必要な養分にします。このため、土の中に養分がほとんどない場所でも生活できます。

E ウツボカズラ

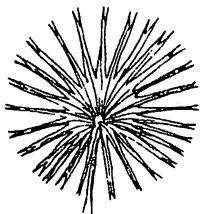


かんさつ
3 観察してみましよう (かんさつばしよさいしゅう ページの
 観察マップを見て下さい。)

大温室にはさまざまな特徴をもった植物がいっぱい。
 ある歩きながらクイズに答えよう。

1) ヤシの仲間の葉をさがしてみよう。何番と何番？

①



②



③

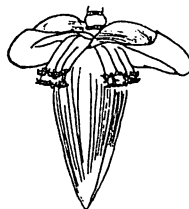


2) みんなの大好きなバナナ。花はどんな形？

①



②



3) タビビトノキの葉の大きさはどのくらい？

① 5 m

② 10 m

③ 30 m

4) チョコレートの原料になるカカオの実。

実はどこについているのかな？

① 枝の先

② 幹の上

5) つぼのような形のサラセニア。何を食べて栄養をとっているかな？

① 虫

② 自分の体

③ 空気

6) ゴムノキの仲間^{なかま}のガジュマル。絞め殺し^{しめころ}植物と呼ばれるのはなぜ？

- ① そばにきた動物^{どうぶつ}を絞め殺^ししてしまうから
- ② 根^ねをまきつかせたり、おおいつくしたりして、他の植^{ほか}物を枯^からしてしまうから

7) 池^{いけ}の中のヤエヤマヒルギ。傘^{かさ}の骨^{ほね}のような根^ねはどんな役^{やく}目^めをしているかな？

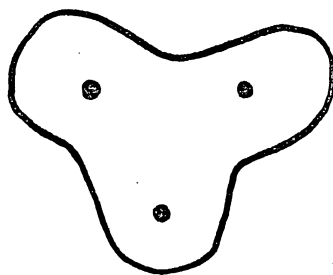
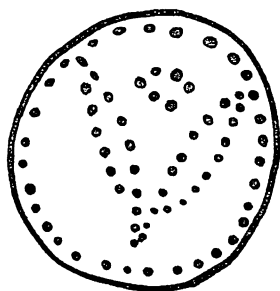
- ① 体^{たい}を支^{ささ}える
- ② 飾^{かざ}り
- ③ 息^{いき}をする

8) コショウランの根^ね（白いひものようなもの）はどこにあるかな？

- ① 土^{つち}の中
- ② 岩^{いわ}や木^きの上

9) ヒカゲヘゴ。茎^{くき}についている模様^{もよう}はどちら？

- ①
- ②



10) サルオガセモドキは水分^{すいぶん}をどこから吸^{きゅうしゅう}収^{しゅう}しているかな？

- ① 根^{くき}
- ② 茎^{くき}
- ③ 葉

4

かいとう かいせつ
解答と解説

1) ①と②

熱帯^{ねったい}の植物^{しょくぶつ}といえば思い出すのがヤシ^{やし}の仲間^{なかま}。大きな実^みをつけるココヤシ^{ここやし}のほかにも、たくさんの種類^{しゅるい}のヤシ^{やし}があります。孔雀^{くわんくわく}が羽根^{はね}を広げたような形のハリクジャクヤシ^{はりくじゃくやし}は、幹^{みき}に刺^{とげ}が出ています。気^きをつけて観察^{くわんさつ}しよう。

2) ②

花^{はな}はたくさんの甘い蜜^{みつ}を出^だしています。自生地^{じせいち}ではコウモリ^{こうもり}が蜜^{みつ}を吸^すいにきて、受粉^{じゅふん}が行われ、種子^{しゅし}ができます。わたしたちが食べるバナナ^{たね}は種^{たね}なしバナナ^{なしバナナ}で受粉^{じゅふん}をしなくても実^みが大きくなります。①はバナナ^{たね}と同じバショウ科^{ばしやうこ}の仲間^{なかま}のゴクラクチョウカ^{ごくらくしょうか}です。

3) ②

長いものでは20メートル以上になるともいわれています。茎^{くき}を包^{つつ}んでいる葉鞘^{ようしょう}に水^{みづ}がたまり、その水^{みづ}を旅人^{りょじん}が利用^{りよう}するためタビビトノキ^{たびびとのかき}と名前^{なまえ}がついたといわれます。また、自生地^{じせいち}では、葉^はが東西方向^{とうせいほう}に広が^{ひろ}がっているので方向^{ほうこう}を知るために使^{つか}われることもあるそうです。

4) ② ～幹生花(果)～

幹^{みき}の上に直接^{ちよくせつ}、直径^{ちけい}1～2 cmのピンクの花^{はな}をつけます。

たくさんの花^{はな}をつけますが、実^みを結^{むす}ぶのは200～400個^この花^{はな}にひとつの割合^{わりあい}です。幹^{みき}に直接^{ちよくせつ}実^みがつく理由^{りゆうゆ}はつぎのようにいわれています。

(ア) 種子^{しゅし}の散布^{さんぷ}をしてくれる動物^{どうぶつ}がとりやすいようにしている

(イ) 枝先^{えだ}まで養分^{ようぶん}を送^{おく}るのはエネルギー^{えんじやう}の無駄^{むだ}づかいなので、幹^{みき}から直接^{ちよくせつ}、花^{はな}や果実^{かじつ}に養分^{ようぶん}を送^{おく}っている

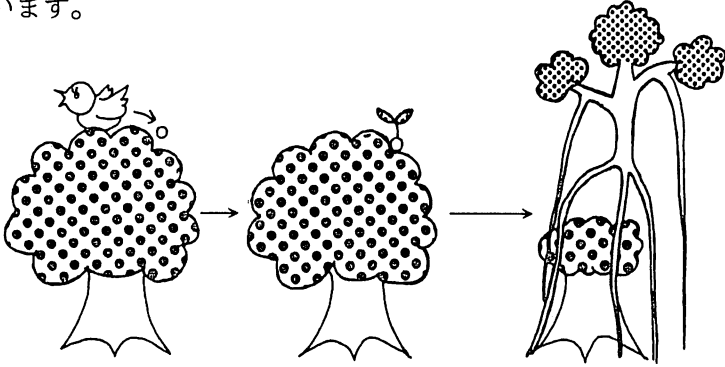
(ウ) 植物^{しょくぶつ}の生育^{ていき}に適^あした熱帯多雨林^{ねったいたうりん}では、樹皮^{じゅひ}があまり厚^{あつ}くならず、芽^めが出^でやすい

5) ①

一般^{いっぱん}に食虫植物^{しょくちゅうしょくぶつ}は、やせた土地^ちで生育^{ていき}することが多く、足りない栄養^{えい}を虫^{むし}からとっています。つばは虫^{むし}をつかまえるためのもので、足をすべらせてつばに入^いってしまった虫^{むし}は、中の細菌^{さいきん}や消化酵素^{しょうかこうそ}の働き^{はたら}きなどにより分解^{ぶんかい}され、植物^{しょくぶつ}の栄養^{えいよう}になります。

6) ②

ガジュマルの種子はサルや鳥によって高い木の枝に落とされ、そこで発芽します。すると、ガジュマルは根を木の幹にそって伸ばしたり、枝から気根をのびして根を地面に定着させます。そして元の木の上に枝葉を広げておおうので、その木は光不足になり、枯れてしまいます。



7) ①

ヤエヤマヒルギは川が海に注ぐ河口の水辺に生育しています。そのような場所は地面が柔らかかったり、波の影響を受けやすいため体を支える必要があります。また、この根は泥の流出を防ぐのにも役立っています。

8) ② ~着生根~

密林の樹木の枝などに根をはわせていますが、樹木から水や養分を取ることはありません。幹をつたう雨水や空気中の水分を吸収しています。

9) ①

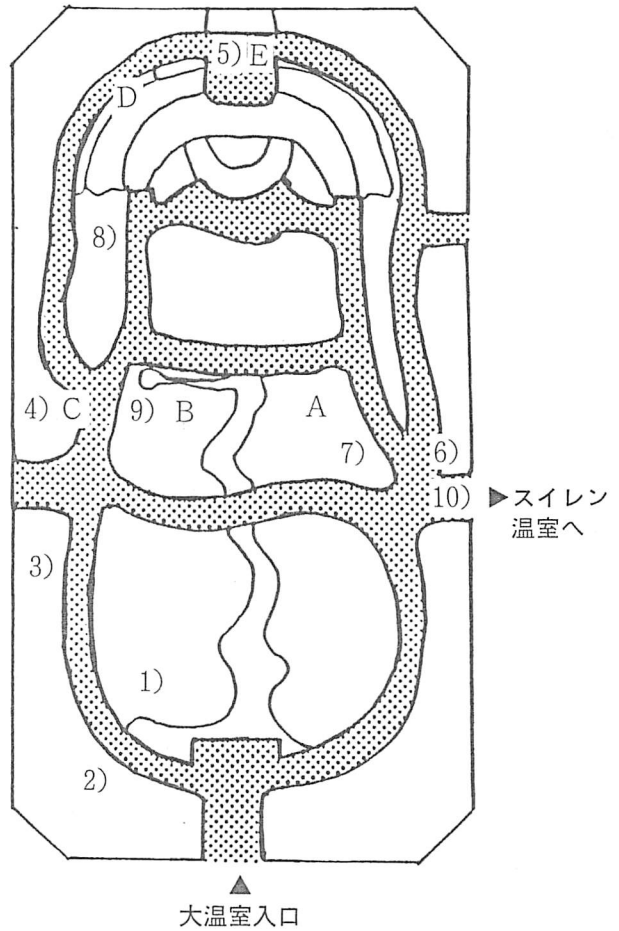
この模様は、葉の落ちた跡で「葉痕」と呼ばれます。無数の小さな点は水や養分の通りの跡にあたります。

10) ②と③

サルオガセモドキの体の大部分は、葉からできています。根はとも短いものがわずかにあるだけで、茎も直径が1 mm以下です。茎や葉は全体が毛ばだっており、これが空気中の水分を吸収します。

えん ない かん さつ
園内観察マップ

場所	植物名
A	タコノキ
B	ヒカゲヘゴ
C	カカオ
D	バンダ
E	ウツボカズラ
1)	ヤシ
2)	バナナ
3)	タビビトノキ
4)	カカオ
5)	サラセニア
6)	ガジュマル
7)	ヤエヤマヒルギ
8)	コショウラン
9)	ヒカゲヘゴ
10)	サルオガセモドキ



学校名	
学 年	年 組
名 前	